



2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年1月5日

上場会社名 株式会社アオキスーパー 上場取引所 東
 コード番号 9977 URL <http://www.aokisuper.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 俊道
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼開発部長 (氏名) 黒澤 淳史 (TEL) 052(414)3600
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の業績 (2020年3月1日~2020年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	80,266	4.5	2,645	227.9	2,696	207.4	1,763	246.8
2020年2月期第3四半期	76,833	△2.8	806	△28.6	877	△26.1	508	△28.2
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年2月期第3四半期	305.89		304.29					
2020年2月期第3四半期	88.59		88.13					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	31,490	21,356	67.7
2020年2月期	29,446	19,881	67.4

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 21,316百万円 2020年2月期 19,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2021年2月期	—	30.00	—		
2021年2月期(予想)				40.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2021年2月期期末配当金の内訳 記念配当 10円00銭

3. 2021年2月期の業績予想 (2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,500	3.0	2,600	77.3	2,660	71.3	1,700	145.6	294.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期3Q	6,250,000株	2020年2月期	6,250,000株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	469,576株	2020年2月期	494,924株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期3Q	5,764,378株	2020年2月期3Q	5,738,510株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、国内においても4月に政府が緊急事態宣言を発出、5月の解除後も断続して感染拡大が見られるなど、社会経済活動が停滞したことにより、非常に厳しい状況となりました。また、同感染症の影響が国内経済を下振れさせるリスク並びに海外経済の動向及び金融資本市場の変動に留意が必要など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当小売業界におきましても、同感染症とそれに伴う自粛の影響により、雇用情勢の悪化や個人所得の減少が消費者マインドへ与える影響が懸念され、今後も厳しい状況が続くものと思われれます。さらに、当社を取り巻く経営環境は、食品の取扱比率を高めているドラッグストアや同業店舗間競争の激化、人件費の高騰や低価格志向などの生活防衛意識がこれまでも増して強まることが予想され、引き続き厳しい状況が続くものと考えられます。

このような状況におきまして当社は、政府・自治体の指針に沿い、お客様及び従業員の安心・安全を最優先に、店内の混雑緩和や店舗における感染拡大防止対策に取り組み、営業活動を継続いたしました。また、第2四半期より、当社の購買データをメーカー等と共有し、販売促進活動に活用するなど、同感染症の影響下におきましても、積極的にマーチャンダイジングの最適化に努め、お客様の満足度向上に取り組みました。

業績面におきましては、小中学校等の休校や緊急事態宣言発令下での外出自粛の要請に伴う外食機会の減少、テレワークの増加、旅行機会の減少などによる在宅時間の増加を受け、内食需要が高まった結果、売上高は前年を大きく上回りました。また、同感染症への対策費用は増加したものの、店内の混雑を緩和するという観点から、緊急事態宣言発令期間中に広告の配布等を自粛した結果、販売費は減少し、利益面でも前年を大きく上回りました。

店舗政策では、同感染症の影響により内食需要が高まっていた時期を避け、9月に加木屋店・10月に高浜店・11月に乙川店をリニューアルオープンいたしました。

販売促進政策では、第1四半期より、生鮮食料品に強みを持つ食品スーパーである当社の特色を前面に打ち出し、月に一度、第2水曜日は鮮魚を中心とした「魚の日」、29日は精肉を中心とした「肉の日」として、旬の食材やお値打ち品を多数取り揃えた企画を実施いたしました。また、7月からのレジ袋有料義務化に先立ち、6月に当社のオリジナルマイバッグを先着30万名様にプレゼントするキャンペーンを実施いたしました。

以上の結果、当第3四半期は、営業収益802億66百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益26億45百万円（前年同期比227.9%増）、経常利益26億96百万円（前年同期比207.4%増）、四半期純利益17億63百万円（前年同期比246.8%増）となりました。

なお、当社は、食料品を中心に生活関連用品等の販売を主体とする事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前事業年度に比べ、20億46百万円増加し、146億円となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

固定資産は、前事業年度に比べ、2百万円減少し、168億90百万円となりました。

この結果、総資産は、前事業年度に比べ、20億43百万円増加し、314億90百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前事業年度に比べ、5億41百万円増加し、81億33百万円となりました。これは主に、未払法人税等の増加によるものであります。

固定負債は、前事業年度に比べ、27百万円増加し、20億円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度に比べ、5億69百万円増加し、101億34百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前事業年度に比べ、14億74百万円増加し、213億56百万円となりました。

また、自己資本比率は、前事業年度に比べ、0.3ポイント増加いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の通期業績予想につきましては、前回(2020年10月6日)公表の業績予想から変更はございません。なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

	(単位：百万円)	
	前事業年度 (2020年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,408	12,483
売掛金	0	0
商品	1,627	1,650
貯蔵品	25	21
その他	492	443
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,553	14,600
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,504	6,523
土地	4,077	4,078
その他(純額)	1,340	1,232
有形固定資産合計	11,922	11,833
無形固定資産	295	331
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,016	2,974
その他	1,705	1,798
貸倒引当金	△47	△47
投資その他の資産合計	4,674	4,725
固定資産合計	16,893	16,890
資産合計	29,446	31,490
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,515	5,175
未払法人税等	316	783
賞与引当金	182	366
役員賞与引当金	—	40
ポイント引当金	270	293
その他	1,308	1,475
流動負債合計	7,591	8,133
固定負債		
退職給付引当金	686	724
環境対策引当金	94	94
長期預り保証金	786	772
資産除去債務	398	403
その他	7	6
固定負債合計	1,973	2,000
負債合計	9,565	10,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,372	1,372
資本剰余金	1,740	1,759
利益剰余金	17,578	18,995
自己株式	△854	△810
株主資本合計	19,835	21,316
新株予約権	45	40
純資産合計	19,881	21,356
負債純資産合計	29,446	31,490

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)
売上高	73,092	76,396
売上原価	61,866	63,422
売上総利益	11,226	12,973
その他の営業収入	3,740	3,870
営業総利益	14,967	16,843
販売費及び一般管理費	14,160	14,197
営業利益	806	2,645
営業外収益		
受取利息	20	19
その他	52	32
営業外収益合計	72	52
営業外費用		
支払利息	0	0
収納差金	1	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	877	2,696
特別利益		
固定資産売却益	0	1
新株予約権戻入益	0	—
補助金収入	4	5
特別利益合計	5	6
特別損失		
固定資産除却損	66	54
損害賠償金	—	1
特別損失合計	66	56
税引前四半期純利益	816	2,647
法人税、住民税及び事業税	392	1,002
法人税等調整額	△84	△118
法人税等合計	308	883
四半期純利益	508	1,763

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。